OSAKI

大崎電気工業株式会社

〒141-8646　東京都品川区東五反田2-10-2 東五反田スクエア
TEL：03-3443-7171（代）　FAX：03-3443-9514
URL：https://www.osaki.co.jp/
https://www.osaki.co.jp/en/（グローバルサイト）

※ ホームウォッチ、ストアウォッチ、ファームウォッチ、OSAKI OSOLは、
シンボルマークともに大崎電気工業株式会社の登録商標です。
※ OPELOは、大崎電気工業株式会社の登録商標です。
※ PQMO、O-SOLのシンボルマークは、大崎電気工業株式会社の登録商標です。
※ スマートメーター、Wi-Fi、その他、当案内に記載されている会社名、製品名またはサービス名は、
各社の商標または登録商標です。

2024.5（200）

OSAKI

Corporate Guide

Global Energy Solution Leader

エネルギー・ソリューションを　通じて、世界に新たな価値を。

ごあいさつ

当社は1916年の創業以来、電力の計測・制御を通じて、
エネルギーの有効活用に貢献してきました。

そして現在は、さまざまな事業パートナーとともに、
国内トップクラスの納入実績を誇るスマートメーターの高機能化や、
社会課題の解決に貢献するソリューションの提供を進めています。

私たちは、新たに企業理念（パーパス）として
「見えないものを見える化し、社会に新たな価値を生み出す」
を掲げ、社会とともに持続的に成長することを目指します。

代表取締役社長
渡辺光康

企業理念（パーパス）

見えないものを見える化し、社会に新たな価値を生み出す

ビジョン

Global Energy Solution Leader

価値観

挑戦・迅速・革新・社会貢献

会社の概要

商号	大崎電気工業株式会社（OSAKI ELECTRIC CO.,LTD.） 東京証券取引所 プライム市場（証券コード：6644）
創業年月	1916年8月
設立年月	1937年1月
資本金	7,965百万円
主要な事業内容	電気機械器具、装置ならびに一般機械器具、装置の製造および販売
事業所	本社　〒141-8646 東京都品川区東五反田二丁目10番2号 東五反田スクエア 電話（03）3443-7171（代表） 本社別館　〒141-0022 東京都品川区東五反田二丁目1番12号 第2大崎電気ビル 電話（03）3443-9131（代表） 埼玉事業所　〒354-8501 埼玉県入間郡三芳町藤久保1131番地 電話（049）258-1205 札幌営業所　〒060-0042 札幌市中央区大通西四丁目6番1号 札幌大通西4ビル 電話（011）251-6622 仙台営業所　〒980-0014 宮城県仙台市青葉区本町二丁目5番1号 オーク仙台ビル 電話（022）223-3747 名古屋営業所　〒461-0004 愛知県名古屋市東区葵三丁目23番10号 千種ファーストビルかとう 電話（052）933-2229 大阪営業所　〒531-0072 大阪府大阪市北区豊崎三丁目20番9号 三栄ビル 電話（06）6373-2556 広島営業所　〒730-0037 広島県広島市中区中町9番12号 中町三井ビル 電話（082）243-1611 沖縄営業所　〒902-0077 沖縄県那覇市長田一丁目22番18号 電話（098）832-7406

グループ会社

株式会社エネゲート
〒531-0077 大阪府大阪市北区大淀北1丁目6-110
電力量計・キュービクル等の製造・販売・工事

大崎電気システムズ株式会社
〒141-0022 東京都品川区東五反田2-1-10 大崎電気ビル5階
配電盤・分電盤の製造・販売

大崎データテック株式会社
〒141-0022 東京都品川区東五反田2-1-10 大崎電気ビル2階・3階
検針システムの開発・販売

岩手大崎電気株式会社
〒020-0552 岩手県岩手郡雫石町下平90番地2
電力量計部品・配電自動化機器・電気制御機器の製造

大崎プラテック株式会社
〒354-0045 埼玉県入間郡三芳町上富307-2
電力量計部品の樹脂成形・組み立て・加工

大崎テクノサービス株式会社
〒141-0033 東京都品川区西品川3-19-6 リビングライフ大崎5F
電気機械器具の工事およびビルメンテナンス

大崎エステート株式会社
〒141-0022 東京都品川区東五反田2-1-10 大崎電気ビル6階
不動産の賃貸

株式会社ラ・クラシン
〒141-0022 東京都品川区東五反田2-1-10 大崎電気ビル4階
スマートロック関連製品の生産・販売管理
スマートロック関連システムの開発

OSAKI United International Pte. Ltd.
47 Yishun Industrial Park A, 4th Floor Singapore 768724
海外事業子会社EDMI Limitedの持株会社

OSAKIグループの歩み

創業以来100年以上にわたって時代が求める電力計測・制御技術を追求し、進化と成長を続けてきました。
これからも、多様なエネルギー・ソリューションに取り組み、さらなる事業の拡大と発展を目指していきます。

1916年8月
弘業製作所として東京都品川区東大崎にて創業

1932年 日本初
熱動過電流しゃ断器を生産、特許取得
本社を東京都品川区東五反田に移転

1937年1月
株式会社に組織変更

1941年4月
大崎工業（株）を吸収合併し、商号を大崎電気工業（株）と改称、計器用変成器をラインアップ化

1949年
当社第1号の電力量計開発

機械式電力量計

1952年10月
本社事務所を新設

1956年
電磁式電流制限器を開発

電流制限器

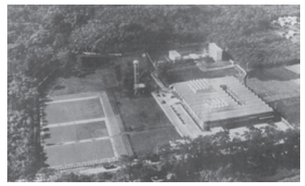
1957年～1961年
1957年6月、本社社屋を鉄筋コンクリート造り2階建てに建て替え、1961年には本社社屋に3階を増築

1960年～1968年
電力会社との共同出資により、メーター製造会社を設立
- 1960年 九州電機製造（株）（現商号：九電テクノシステムズ（株））
- 1961年 中部精機（株）
- 1968年 東北計器工業（株）

1961年
電力会社向け機械式電力量計でシェアトップに

1962年1月
東京証券取引所市場第二部上場

1963年9月
埼玉県入間郡三芳村（現三芳町）に埼玉工場（現埼玉事業所）を建設。操業を開始



1970年 日本初
配電自動化システムによるRC運転開始

配電自動化システム

1978年
デマンドコントロール装置を商品化、販売開始

デマンドコントロール装置

1980年10月
東京証券取引所市場第一部上場（指定替え）

1982年
市販向けとして初めての電子式電力量計を開発

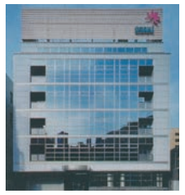
管理用半電子式電力量計

1987年
高圧電子式電力量計を開発

高圧電子式電力量計

1990年4月
ベンチャー投資事業として大崎エンジニアリング（株）を設立

1994年4月
本社別館跡地に地上6階・地下1階建ての本社社屋（現 大崎電気ビル）が完成。本社機能を移し業務を開始



2001年 業界初
分電盤内組み込み用電力量計を開発

コンパクト電子式電力量計

2002年11月
エネルギー検針システムに強いアイトロンデータ・テック（株）を子会社とする（現商号：大崎データテック（株））

2003年
デマンド・マネジメント・サービス提供開始

2007年2月 M&A（国内）
（株）エネゲートを子会社化
関西圏の事業基盤強化

2008年 日本初
スマートメーター導入
（共同開発プロジェクトに参画）

スマートメーター（大崎電気・エネゲート）

スマートメーター（大崎電気）

2009年5月
地上16階・地下2階建ての東五反田スクエアへ本社機能を移し業務を開始

2012年2月 M&A（海外）
EDMI Limitedを子会社化
海外売上比率：3%→約30%に急伸

2012年～
海外向けスマートメーター拡充

スマートメーター（EDMI社）

2016年8月
創業100周年

2017年
watch series提供開始

2018年11月
大崎電気ビル1階にオープンイノベーションラボを開設

2018年11月
キーレスエントリーシステム「OPELO（オペロ）」提供開始

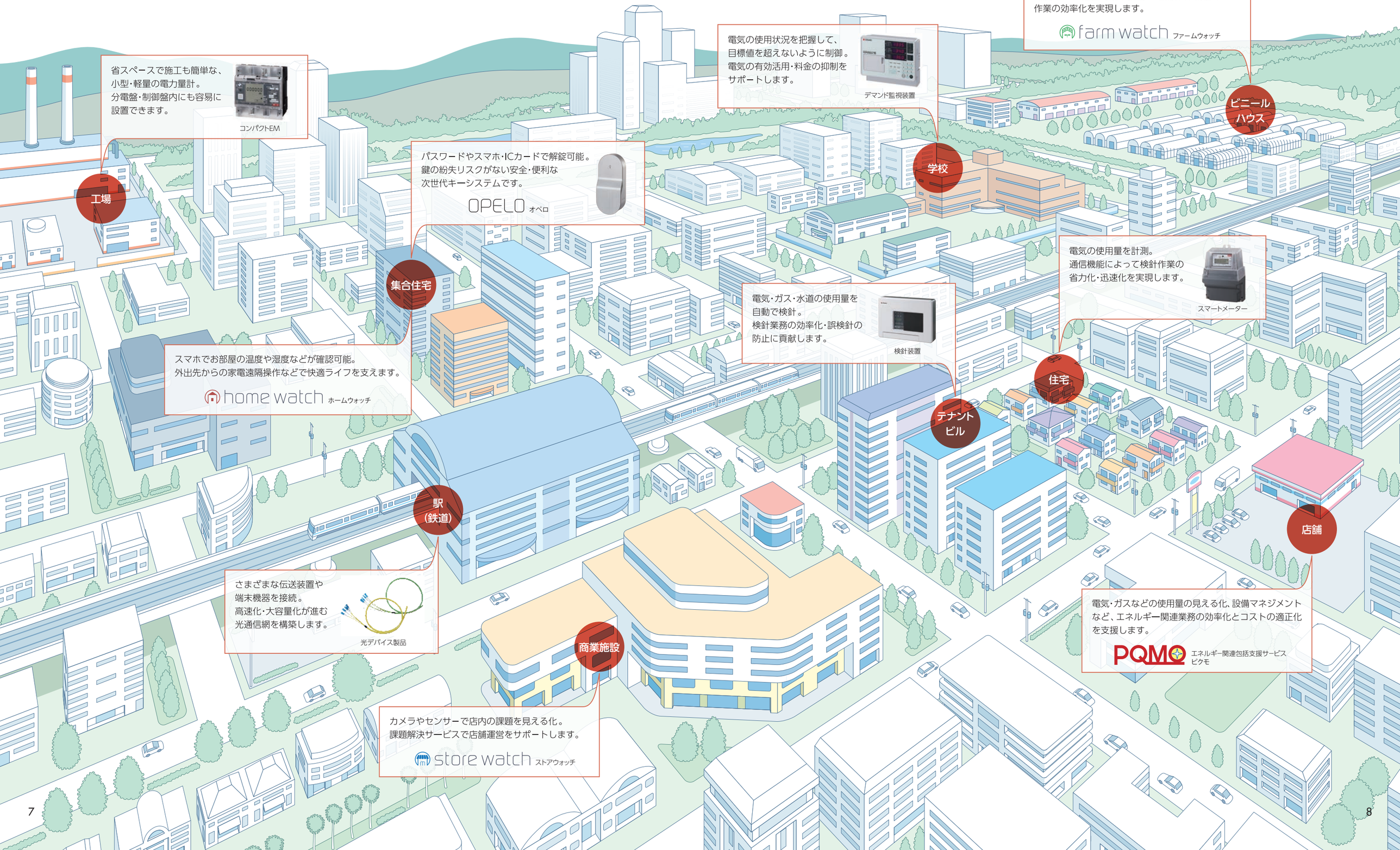
OPELO

2022年4月
東京証券取引所プライム市場へ移行

1916年～1950年代 | 1960年代～1970年代 | 1980年代～1990年代 | 2000年代 | 2010年代～

私たちの製品は、
人々の暮らしに身近なところで安心と快適を支えています。

すべての製品・サービス情報は
こちらから



計測制御機器

培ってきた「計る」技術をベースに、社会全体の電力利用の効率化に貢献しています。

OSAKIでは、創業以来100年以上にわたって高度で多様な電力計測・制御関連の製品やサービスを提供し続けてきました。
そうして培ってきた技術を生かして、電力インフラのデジタルネットワーク化のキーデバイスとして導入が進められているスマートメーターの開発にもいち早く取り組み、一般家庭用をはじめ産業用、商業用、発電所・変電所向けまで多様なラインアップを開発、提供しています。

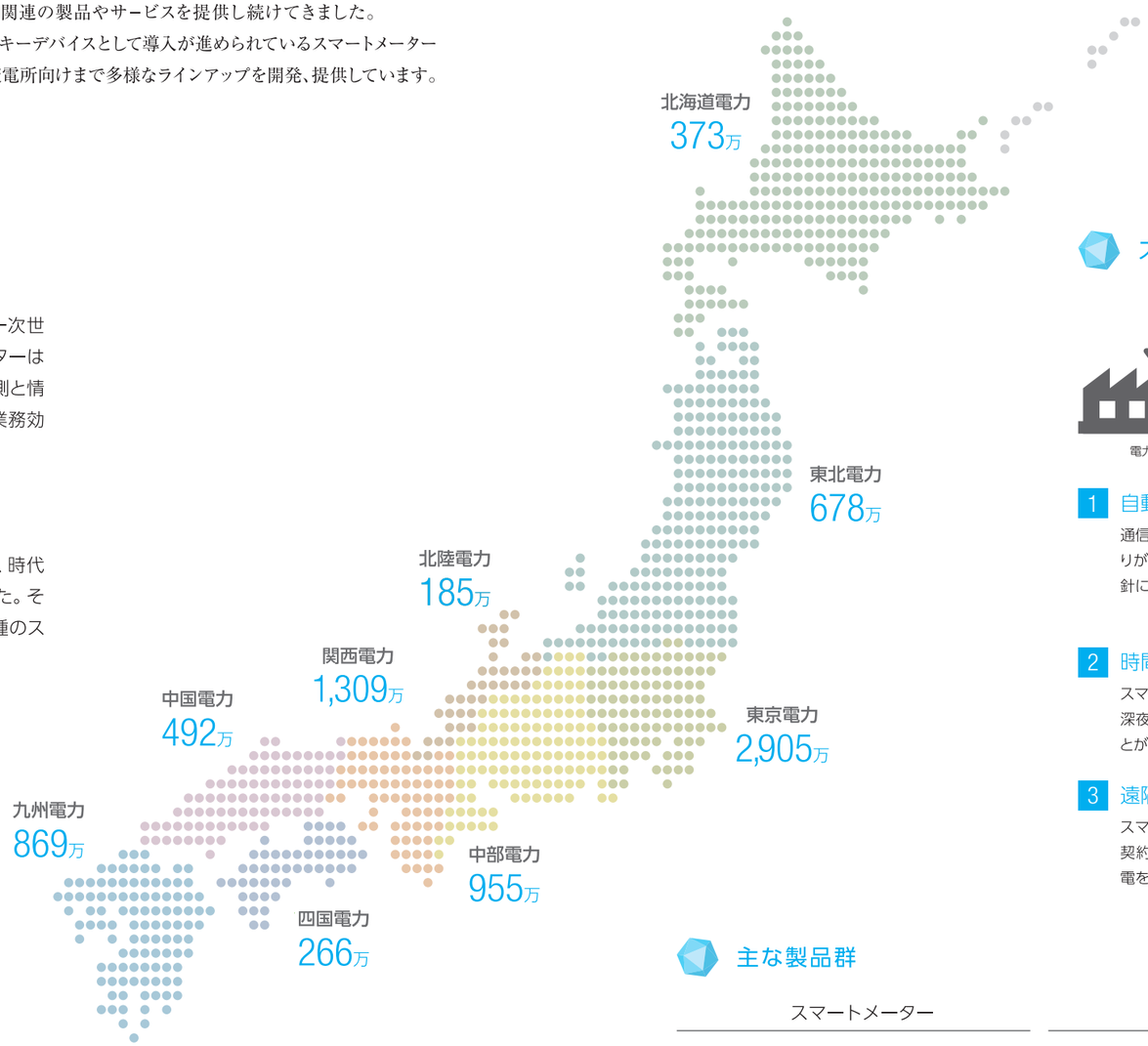
特長

1 次世代送電網の中核となるスマートメーター

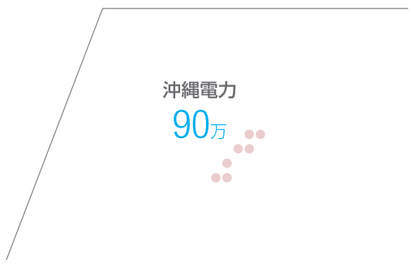
日本国内に限らず、世界の各国・地域でスマートグリッド 一次世代送電網の検証や構築が進められています。スマートメーターはその重要なインフラとなる機器で、リアルタイムの電力計測と情報通信機能によって、電力利用者のコスト低減や供給者の業務効率の向上などさまざまな価値をもたらします。

2 全国10社の電力会社にスマートメーターを納入

OSAKIでは、全国の電力会社とのパートナーシップのもと、時代のニーズに応じた高性能の電力量計を開発・提供してきました。そうした経験と信頼関係をもとに、全国10社の電力会社に各種のスマートメーターを納入しています。



■各電力会社のスマートメーター設置予定台数
（2020年経済産業省 資源エネルギー庁資料から）



スマートメーターが可能にする検針・計測

1 自動検針

通信機能によって自動検針が可能となり、従来のような検針員による毎月の電力量計見回りが不要となります。海外では見込み使用量で請求される場合が多いですが、自動検針によって毎月正確な電気使用量が請求できるようになります。

2 時間帯別計測

スマートメーターは時間帯別に電気使用量を詳細に計測することが可能です。これにより、深夜に格安で使えるプランなど、時間帯によって電気料金が変わるプランを利用することが可能になります。

3 遠隔接続・切断

スマートメーターは、通信機能を有しているので、遠隔からの電気の開通・停止などの契約変更ができます。また災害時などに懸念される電気火災防止およびスムーズな復電を可能にするほか、料金未納の場合の電力供給遮断を容易に行うことができます。

主な製品群

スマートメーター

国内用

海外用

国内向け各種電力量計

管理用

産業・業務用

直流用

関連製品

計器用変成器・配電制御用子局・通信端末・配電盤

監視制御装置

スマートメータリングシステム

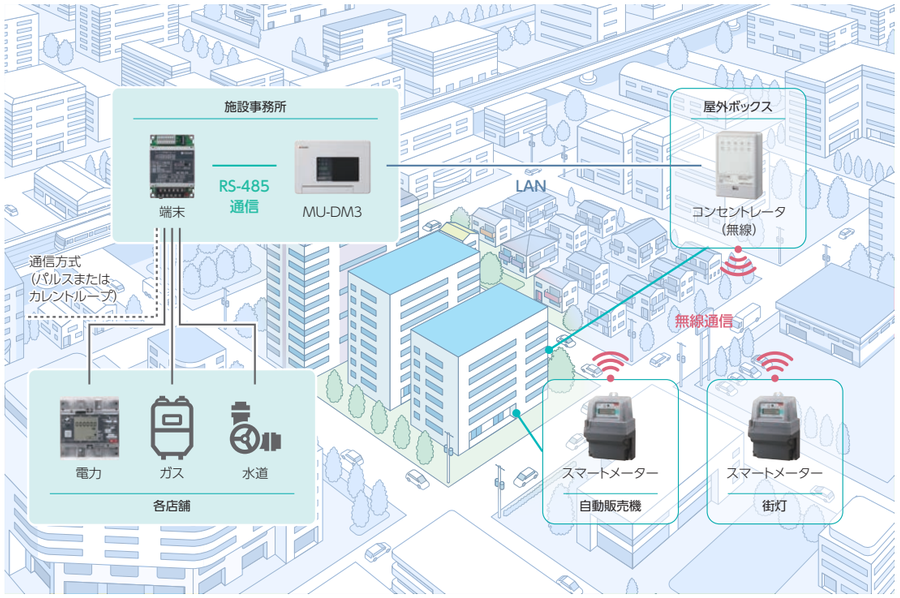
検針業務の自動化とクラウド活用で、省力化と正確性の向上に貢献します。

スマートメーターによって収集した電力使用量のデータに加えて、ガス・水道の利用データも自動で一括集計・検針ができる「スマートメータリングシステム」を提供。集合住宅などの小規模施設から大規模の商業施設やテナントビルまで、検針業務の省力化・正確性の向上を可能にします。また、クラウド環境を活用して多拠点の遠隔検針やデータの一元管理などのニーズにも対応します。

特長

- 電気に加え、水道・ガスの使用量などのエネルギーデータを自動で一元管理。
- テナントごとの検針・管理・請求などの業務を省力化。
- クラウド活用で遠隔検針やデータの一元管理に対応。

「スマートメータリングシステム」の構成例



複数の事業所のエネルギーデータ・設備情報のクラウド管理ができるほか、各事業所への情報告知や官公庁向け報告書の作成が行えるWebプラットホームです。

主な製品、システム

中・大規模向け
検針・データ収集装置
自動検針・データ収集・サーバー連携などさまざまなシチュエーションに対応します。

小規模向け
集中自動検針装置
小規模検針に適したオール・イン・ワン。一括集計・検針機能で小規模の検針業務を効率化します。

小規模向け
ハンディ検針システム
無線検針に対応。目視検針に要していた時間や労力の削減を可能にします。

エネルギーマネジメントシステム

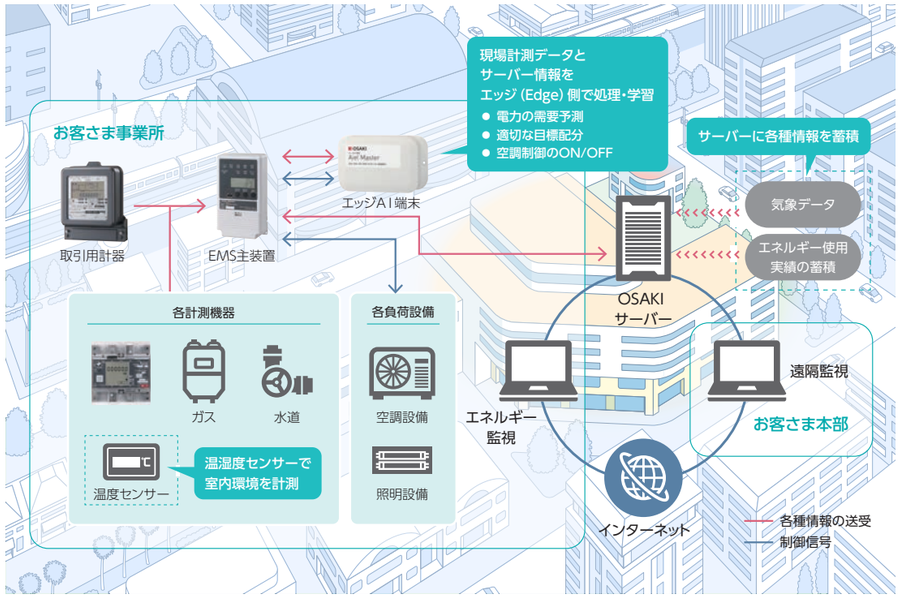
使用電力の自動制御・抑制で、快適性と効率的な電力利用の両立を実現します。

空調や照明の制御を行うことで使用電力を自動的に抑制・制御できる「エネルギーマネジメントシステム」に、独自開発のAI機能を搭載。気象情報や過去の使用電力量を基に、常に学習しながら1週間先までのエネルギー使用量と電気料金を予測します。さらに、時間別に目標電力を個別に自動で設定することが可能なため、より快適で効率的な省エネを実現することができます。

特長

- 電力使用量の「見える化」で、快適で効率的な省エネに貢献。
- 独自開発のAI機能によって、きめ細かなエネルギーマネジメントが可能。
- ホームセンターや家電量販店などに3,000件以上の導入実績。

「エネルギーマネジメントシステム」の構成例



主なサービス、製品群

エネルギー関連包括支援サービス
PQMO
電気やガスの使用量を見える化し、エネルギー関連業務の効率化と間接コストの適正化を支援します。

監視制御システム
e'Meister
施設内のさまざまな機器・設備のデータを収集・計測し、監視・制御の集中管理を実現します。

デマンドコントロール装置
エネルギーの見える化や空調などの自動制御により、使用電力のピークを抑制します。

エッジAI端末
AIの学習機能により電力使用量を予測し、より快適な省エネを実現します。

情報通信関連機器

光デバイス製品

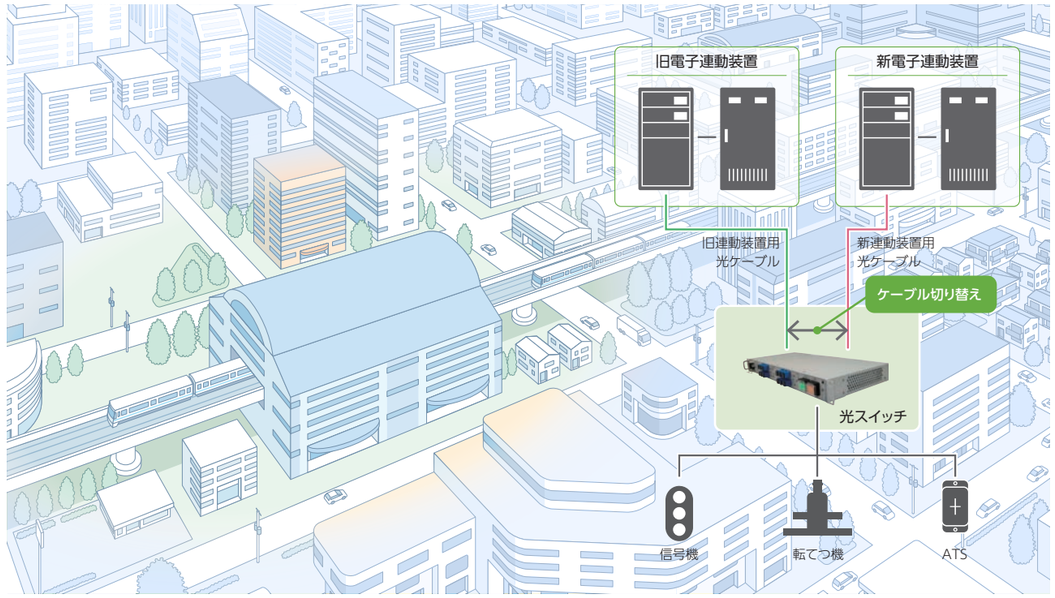
高速化・大容量化が加速する情報通信ネットワークを支えています。

光デバイス製品は、光を利用して情報の記録や伝達などを実現するための製品です。
OSAKIでは、主に鉄道の駅やデータセンターで、高速・大容量の情報通信を行う光ネットワークを構築するための多種多様なデバイス・関連機器をラインアップしています。

特長

- 柔らかさや燃えにくさを備えた素材で多様な現場ニーズに対応し、光ファイバの用途拡大を実現。
- 構内LAN、線路脇への敷設など屋内外それぞれの用途に対応。
- 鉄道信号・保安用途に特化するなど、専門性の高い製品構成。

「光デバイス製品」の納入例



主な製品、システム

光コネクタ付光ファイバコード

柔軟性に優れたコード類、ケーブル被覆で強度や難燃性を高めた製品などをラインアップしています。

光ファイバカプラ

光ファイバカプラは光信号を合分波または分岐し、WDM（波長分割多重方式）フィルタは映像信号と通信信号を合分波させます。

光スイッチ

光ケーブルや光通信設備の切り替えを容易にし、作業の安全性を高めます。

電源切替盤、配分電盤

サーバーやIT機器へ電源を供給する設備です。使用環境や設備構成などに応じた設計によって、ニーズに応える高品質製品を提供します。

新事業

watch series & OPELO series

培ってきた計測技術と制御技術を応用して、新たな可能性を追求しています。

OSAKIでは、電力量計やスマートメーターによって目に見えないエネルギーを「見える化」してきました。
100年以上にわたって培ってきたこの「見守る」技術に、IoT、アプリ・ポータルを組み合わせることで「制御する」という要素を加え、新たな分野に向けたサービスの開発に取り組んでいます。

安心・快適・便利なIoTホームで
「暮らしのあり方」が変わる

home watch ホームウォッチ

スマートフォンやタブレットのアプリから、リモコン付き家電製品（エアコンやテレビなど）の操作と、部屋の状態（温度、湿度、照度、人の有無、ドアの開閉）の確認ができます。入居者に「安心・安全」「快適・便利」なスマートライフを提供します。

自ら考える次世代キーシステム

OPELO オペロ

オペロは、既存の鍵に後付けで設置できるスマートロックです。物理鍵を一切使わずに運用でき、空室時と入居時の2つのモードで管理会社のコスト削減と、入居者の安全性・利便性の向上を両立させます。

気付かないことを見える化することで
「店舗のあり方」が変わる

store watch ストアウォッチ

世の中の動きや消費者行動の変化に対応するために、センサーなどで必要な情報を自動的に収集、分析することで、さまざまな店舗業務のデジタル化をサポート。省エネサービスで培った実績やノウハウを駆使して、店舗運営の課題解決を支援します。

見える化、遠隔操作で
「農業のあり方」が変わる

farm watch ファームウォッチ

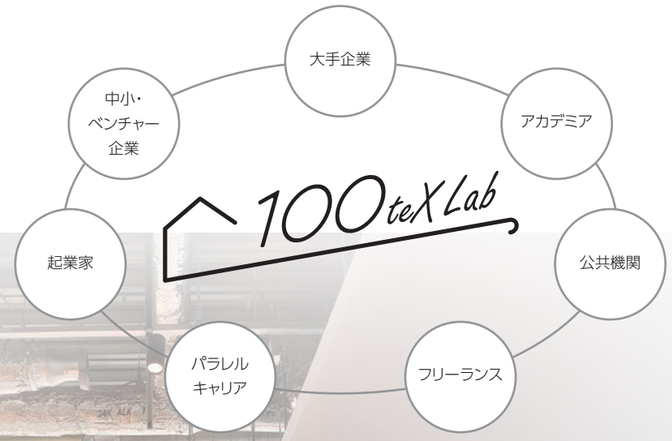
マルチセンサーを設置することで、温度・湿度・照度などのハウス内環境と作業の見える化を実現し、日々の業務を強力にサポートします。遠隔地から設備制御を行えるので、複数のハウスでも少ない負担で管理できるようになります。

オープンイノベーションラボ

幅広いパートナーやサプライヤーとの共同開発により、
IoTやAIを駆使した次世代のエネルギーインフラソリューションを推進します。

「NEXT 100teX Lab」の設置

OSAKIグループでは、グループ研究開発部門のさらなる連携を強化し、より一層のシナジーを実現するとともに、パートナー企業・大学・研究機関との協業や開発委託、外部リソース活用などによるオープンイノベーションを推進し効率的な開発を進めています。
2018年11月には、大学・自治体・ベンチャーとの協創の場として、OSAKI創立の地である五反田（東京都品川区）に、オープンイノベーションラボ「NEXT 100teX Lab（ネクストヒャクテックスラボ）」を開設しました。
NEXT 100teX Labは、次の100年の社会を築く礎となる事業が生まれる場として、「みらいの社会をより良くするために業界や会社の垣根を越えて、新しい価値を共に作り上げること」を目標に掲げています。
このため、OSAKIグループの電力計測・制御機器の開発技術をベースに、大学研究室や自治体、ベンチャー企業、およびアドバイザーとして有識者の方々と連携し、IoT技術やAIの高度化を推進。新たなビジネスモデルの検討・構築、IoT機器の開発、ビッグデータ活用などを通して、新たなエネルギー・ソリューションの創出を目指します。



スポーツ振興

ハンドボール実業団チーム「OSAKI OSOL」や大崎企業スポーツ事業研究助成財団の活動を通じて、
企業スポーツの振興と発展に貢献しています。

地域・社会貢献活動

OSAKIは、50年以上にわたりハンドボール競技の発展に貢献してきました。企業としてハンドボールチーム「OSAKI OSOL（オーソル）」を所有するなど、スポーツ振興に取り組んでいます。
「OSAKI OSOL」は、青少年向けハンドボール教室や各地域主催のスポーツイベントに参加するなど、スポーツを通じた社会貢献活動を積極的に行っています。また、豪雨災害の被災地で土砂の撤去作業などのボランティア活動に従事するなど、選手によるスポーツを超えた地域支援活動も行っています。

OSAKI社会人ハンドボールチーム「OSAKI OSOL」

OSAKIのハンドボールチームは、1960（昭和35）年の創部以来、日本リーグ5回、全日本総合14回、全日本実業団で10連覇を含む15回、新設の全日本社会人で2回、国民体育大会でも23回の優勝を飾るなど、日本ハンドボール界をリードしてきました。2019～20シーズンには国内タイトルをすべて獲得し、念願であったチーム創部初となる「4冠」を達成しています。
チームのセカンドネームは「OSAKI OSOL」。イタリア語で地球の核を意味する「OSOL」（オーソル）にはマグマのごとく熱く燃え、ハンドボールをよりメジャーな競技に引き上げたいという強い願いが込められています。
また「O.S.O.L」は、英語で「空を飛び、海を越え、大地を駆ける」という頭文字を合わせたものです。

OSAKI OSOL公式サイト

出典：日本ハンドボールリーグ機構

地域最適対応を目指して

OSAKIグループの海外子会社であるEDMI社は、シンガポールに拠点を置く世界トップレベルのスマートエネルギーソリューションプロバイダーとして、アジア、オセアニア、欧州、中東の各地域で事業を展開しています。
その高度な技術と豊富な経験を生かして、多機能スマートメーターやメータリングシステムを設計から生産まで一貫体制で供給しています。

欧州で

欧州、主に英国では、脱炭素社会の実現に向けて、再生可能エネルギーを積極的に導入するためのスマートグリッド化が進められています。EDMI社は、一般家庭向けの大規模なスマートメーター導入プロジェクトに参画し、トータルソリューションプロバイダーとして事業と市場の拡大を目指しています。

In Europe

アジア・中東・アフリカで

経済成長が著しいアジア・中東・アフリカでは、企業活動の活発化に伴う電力需要が急増し、全体的に市場が成長しています。こうしたなか EDMI 社は、スマートメーターと上位系システムのセット販売が見込める市場を中心にリソースを集中していきます。

In Asia, Middle East, Africa

グローバル生産体制

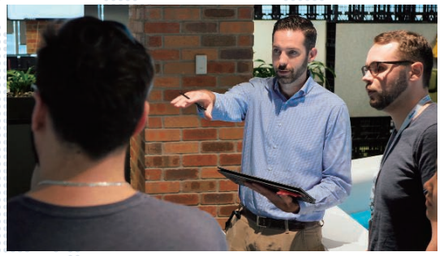
OSAKIグループは、日本国内の生産工場に加えて、マレーシアや中国など世界4カ所に生産拠点を置き、グローバル市場の多様なニーズに応える高品質製品を提供する生産体制を築いています。

EDMI社 マレーシア工場

埼玉事業所

地域密着マーケティング体制

OSAKIグループは、日本を含むアジア、オセアニア、欧州、中東などに営業拠点を設け、国や地域によって異なるニーズを捉え、応えるための地域密着型のマーケティング活動を行っています。



In Oceania

オセアニアで

オセアニアはEDMI社創業の地であり、強固な顧客基盤のもと、非常に高いシェアを持っています。同地域ではスマートメーターと上位系システムをセットにした付加価値の高いスマートメーターソリューションを提供し、マーケットリーダーとしてさらなるシェアの拡大と事業の成長を推進していきます。